

I-O DATA REPORT

第42期 中間報告書

平成28年7月1日 ▶ 平成28年12月31日

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの第42期上半期（平成28年7月1日から平成28年12月31日まで）の営業の概況等についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年3月

代表取締役社長 相野 昭雄

営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善により緩やかな回復基調にあるものの、新興国経済の減速による影響に加え、英国のEU離脱問題や米国新政権の政策運営に対する懸念などから、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループに関係するパソコンや家電、スマートデバイス等のデジタル機器の国内市場は、パソコンやTV関連分野が精彩を欠く中、比較的堅調にあったスマートデバイスも普及一巡により成長は鈍化しました。

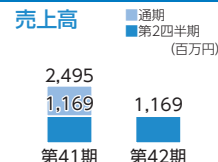
このような状況の下、当社グループは、魅力的な商品・サービスの拡充を進め、細かな更新需要の取り込みに努めるとともに、スマートデバイス周辺機器やIoT・スマートホーム関連などの新市場の創造に力を注いだ結果、売上高は前年同期を上回りました。利益面につきましては、主に増収による影響に加え、米国大統領選を挟み円安ドル高に転じたものの、為替は前年同期に比べ当第2四半期連結累計期間を通じて円高に推移し、輸入パーツの調達費用が抑えられたことから、各利益は前年同期の実績を大きく上回りました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は234億24百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は13億20百万円（前年同期比305.4%増）、経常利益は12億18百万円（前年同期比144.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億48百万円（前年同期比184.2%増）となりました。

部門別 営業の概況

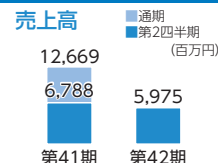
■ メモリ

メモリ部門の売上高は11億69百万円（前年同期も11億69百万円）となりました。
前年同期との比較において、メモリモジュールは、販売台数は伸びたものの販売単価の落ち込みが響き減収となりました。メモリカードやUSBメモリ等のフラッシュメモリは、低価格帯を中心に販売が伸び、増収となりました。



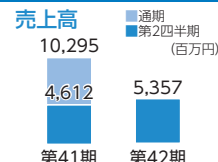
■ ストレージ

主力のハードディスクは、パソコンやTV関連分野の不振から販売は伸び悩みました。また、光ディスクドライブは、これまで順調に伸ばしてきた、音楽CDを直接スマートフォンやタブレットに取り込むことができる「CDレコ」や、DVDビデオを直接スマートデバイスで視聴することができる「DVDミレル」の販売に一服感が出ました。
以上の結果、ストレージ部門の売上高は59億75百万円（前年同期比12.0%減）となりました。



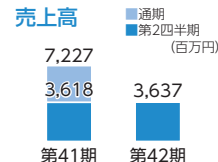
■ 液晶

マーケットシェア首位をより強固なものとするべく、従来手薄であったラインナップや販路の強化に努めました結果、売上高は53億57百万円（前年同期比16.2%増）となりました。当部門の新たな取り組みとして、作業に応じて高さや角度を調整、縦横90度回転することができる「フリースタイルスタンド」モデルを充実したほか、市販の大型TVをタッチパネルディスプレイにすることができる外付けオプション「てれたっち」の発売を開始しました。



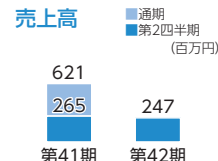
■ 周辺機器

周辺機器部門の売上高は36億37百万円（前年同期比0.5%増）となりました。
地デジチューナーやビデオキャプチャー等の映像関連分野は、自宅で受信したTV放送や録画番組をどこでもスマートデバイスで楽しむことができる次世代TVチューナー「REC-ONシリーズ」の普及に励みましたが、パソコン増設モデルの不振により減収となりました。
ネットワーク分野は、無線LAN・NASともに、ラインナップ強化にともない増収となりました。また、IoT分野進出の布石に、産業用IoTやM2M（機器間通信）市場に求められる信頼性を備えた「M2Mルーター（UD-LT1）」を投入したほか、Wi-FiやBLE（Bluetooth Low Energy）など複数の無線通信規格のセンサーを繋ぎ、様々なクラウドサービスを仲介する「IoTゲートウェイボックス」の開発に着手し、顧客・パートナー開拓を開始しました。



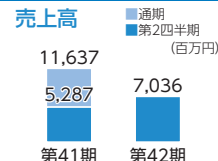
■ 特注製品

デジタル家電関連や通信事業者向けのOEMや特注製品の販売を主とする当部門は、概ね堅調な受注に支えられ推移しましたが、売上高は前年同期の実績を割り込む2億47百万円（前年同期比6.6%減）となりました。



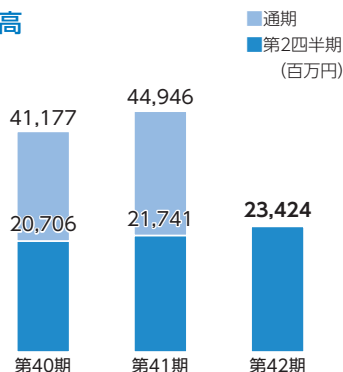
■ 商品およびその他

自社のラインナップを補完する他社ブランド商品の販売を主とする当部門では、好調なサムスン電子・WD製商品の販売に加え、前連結会計年度後半より続くVerbatim®（バーベイタム）の伸張により、売上高は70億36百万円（前年同期比33.1%増）となりました。

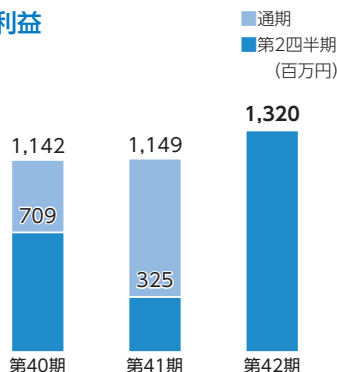


連結決算ハイライト

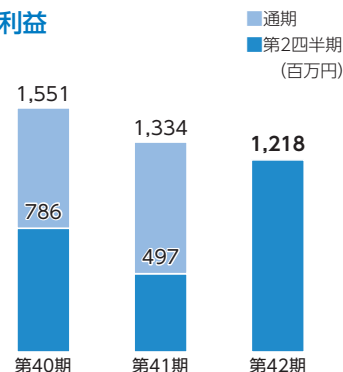
売上高



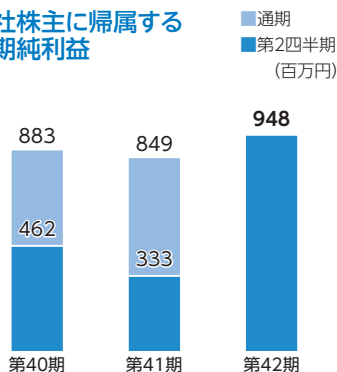
営業利益



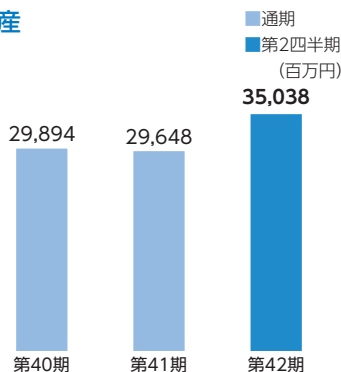
経常利益



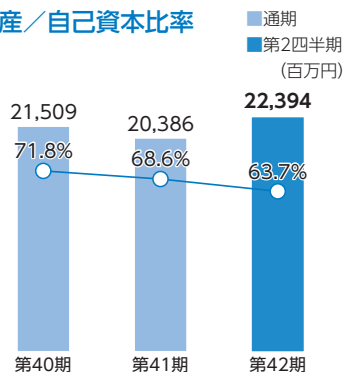
親会社株主に帰属する 四半期純利益



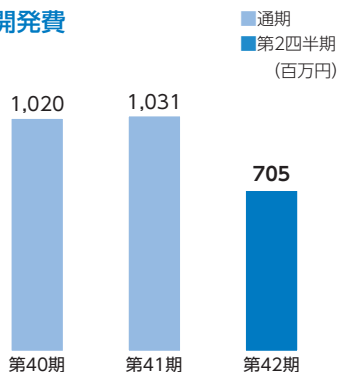
総資産



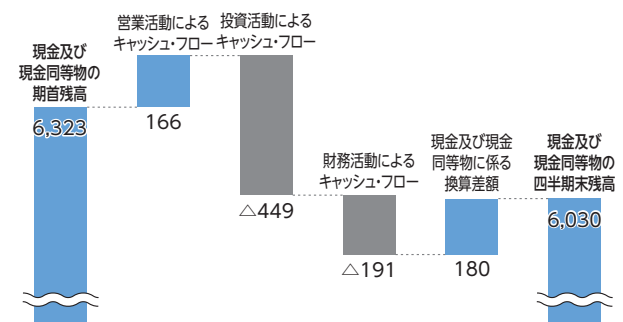
純資産／自己資本比率



研究開発費



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円) 平成28年7月1日～平成28年12月31日



第42期 通期業績予想

(平成29年2月9日発表)

売上高

470億円

経常利益

19.5億円

営業利益

19.5億円

親会社株主に
帰属する当期純利益

14億円

株式情報 (平成28年12月31日現在)

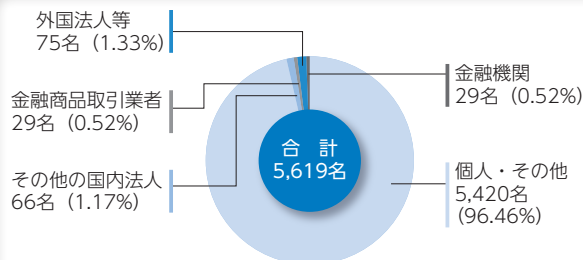
株式の状況

発行可能株式総数	41,000,000株
発行済株式の総数	14,839,349株
1単元の株式の数	100株
株主数	5,619名

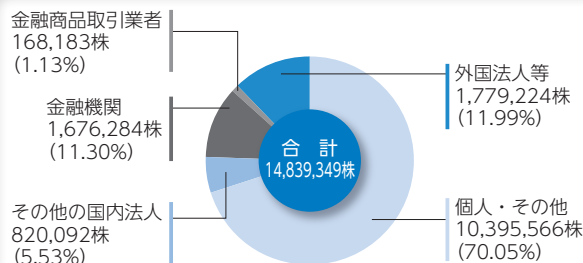
大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
細野昭雄	4,514,643	30.42
株式会社アイ・オー・データ機器	1,946,954	13.12
細野幸江	763,780	5.14
株式会社北國銀行	306,662	2.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	281,900	1.89
有限会社トレント	269,675	1.81
三菱化学メディア株式会社	200,000	1.34

所有者別株主数分布状況



所有者別株式数分布状況



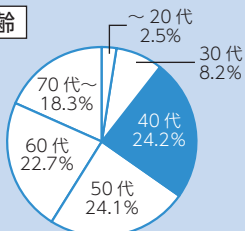
株主様アンケート集計結果

第41期I-O DATA REPORTでの「株主様アンケート」にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。お寄せいただいた回答の集計結果についてご報告申し上げます。

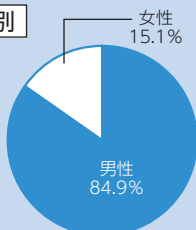
株主の皆様より頂戴した多くの貴重なご意見・ご要望・激励のお言葉を真摯に受け止め、様々な活動の充実・改善に取り組んでまいります。

ご回答いただいた株主様のプロフィール

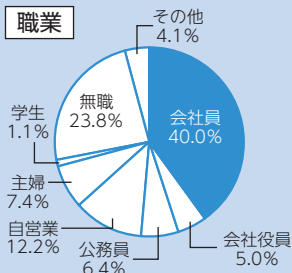
年齢



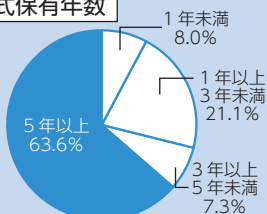
性別



職業



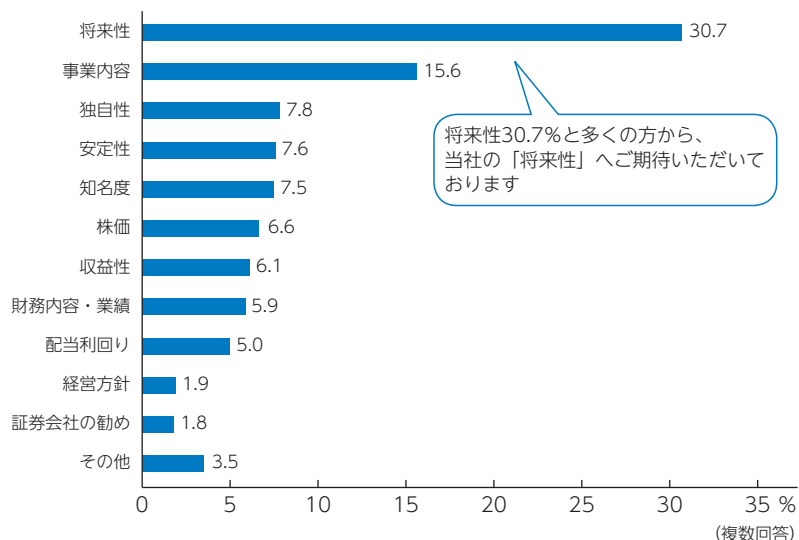
株式保有年数



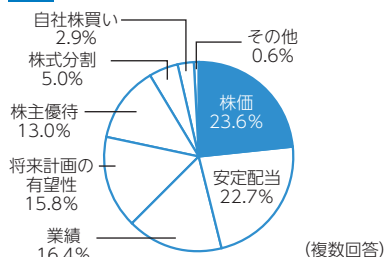
■アンケート実施期間：平成28年9月28日～平成28年10月31日

■回答者数：650通（回答率9.95%）

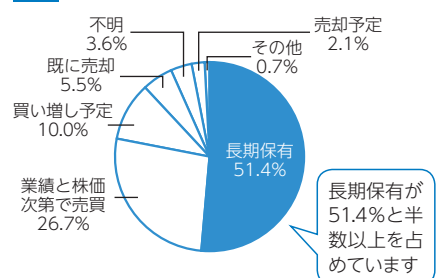
1 当社株式のご購入理由



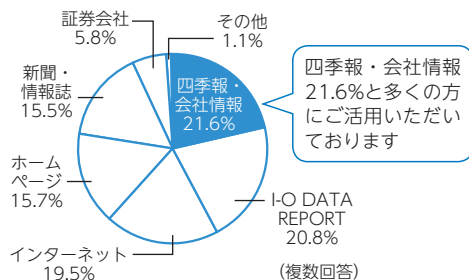
2 保有につながる判断材料



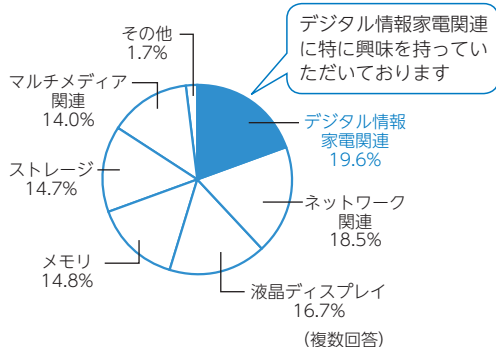
3 当社株式の保有方針



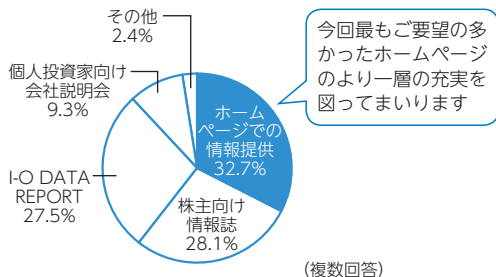
4 当社に関する情報入手手段



5 興味のあるパソコン周辺機器・デジタル家電



6 当社のIR活動について特に充実を希望すること



当社へのご意見・ご要望 (一部抜粋)

製品開発について

- どちらかと言うとニッチな製品を製造している企業だと思うのですが、中高年向けの製品開発も進めて行って欲しいです。
- 変化の激しい、また価格と品質のバランスも難しい業界なのだと思うのですが、変化を半歩先取りしながら、これからも良い製品を出して下さい。一消費者としても期待してます。

経営・業績について

- 無配になった時期はどうなるかと思ったが、グローバル製品の取り扱いなどうまく構造転換していると思いました。頑張ってください。

当社へのご要望、ご提案、激励

- 今後もアンケートを通じて株主とのコミュニケーションを図って頂けると幸いです。
- 総会に行くと、いい会社だなと思う。これからも期待しています。
- 一部指定替え、おめでとうございます。更なる、飛躍を希望します。
- 地元企業に少しですが応援できればと考え株式を購入しましたので、地元のために活躍して下さい。

■ 会社の概要 (平成28年12月31日現在)

■ 会社概要

商 号 株式会社アイ・オー・データ機器
I-O DATA DEVICE, INC.
設 立 昭和51年1月10日
資 本 金 35億8,807万円
従業員数 443名 (単体)
485名 (連結)

■ 役 員

代表取締役社長	細 野 昭 雄
専務取締役	池 濱 田 信 夫
常務取締役	加 藤 尚 則
取締役	新 藤 啓 樹
◎取締役	丸 山 義 廣
◎取締役	池 田 雅 力
※監査役	松 木 勝 一
※監査役	中 村 和 哉
※監査役	長 原 悟

(注) 社外取締役には◎印を、社外監査役には※印を付しております。

■ 当社グループ



事業所

■ 本 社 (金沢市)
■ 営業所
東京 オフィス
大阪 営業所
札幌 営業所
仙台 営業所
名古屋 営業所
広島 営業所
福岡 営業所

関係会社

● 子会社
国際文歐資訊股份有限公司
文歐資訊香港有限公司
I-O DATA America, Inc.
ITGマーケティング株式会社
● 関連会社
I-O & YT Pte. Ltd.
株式会社デジオン
クリエイティブ・メディア株式会社

株 主 メ モ

事 業 年 度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月開催
基 準 日	定時株主総会 毎年 6 月30日 期末配当金 毎年 6 月30日 中間配当金 毎年12月31日 その他必要があるときは、あらかじめ 公告して定めた日
公 告 方 法	電子公告により当社のホームページに 掲載します。(http://www.iodata.jp/) ただし、やむを得ない事由により電子 公告ができない場合は、日本経済新聞 に掲載します。
株主名簿管理人 同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
特別口座の口座管理機関 同 連 絡 先	三井住友信託銀行株式会社 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-782-031 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証 券 コ ー ド	6916

ご注意

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増請求等の各種手続きについて
原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。
口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできません。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きについて
三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三井住友信託銀行にお問い合わせください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできません。

株式会社 アイ・オー・データ機器

石川県金沢市桜田町三丁目10番地
URL <http://www.iodata.jp/>



環境に配慮したFSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。